

令和4年度（2022年度）

管理事業名	成人保健事業			総合計画の体系	大綱 3 福祉・健康 政策 4 健康・医療のまちづくり 施策 1 健康づくりの推進
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費 (目) 10 保健事業費
部局名	健康医療部	予算執行所属	成人保健課		
<b>事業の目的と概要</b> <b>【目的】</b> 心臓病、脳卒中等の循環器病疾患、糖尿病疾患、がん等の生活習慣病の原因となる危険因子を早期に発見し、適切な治療に結びつけるとともに保健指導を実施することにより、これらの疾患の予防及び重症化予防を図る。 <b>【概要】</b> がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん）、結核検診、骨粗しょう症検診、聴力検診、前立腺がん検診、B型・C型肝炎ウイルス検診、30歳代健診、生活習慣病予防健診、健康長寿健診、成人歯科健診、在宅要介護者等訪問歯科健診等の各種検（健）診を実施する。					

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
胃がん検診受診者数	人	2,375	2,640	2,739	胃がん検診（エックス線検査（集団）・内視鏡検査（個別））の合計受診者数
肺がん検診受診者数	人	16,389	18,130	18,672	肺がん検診（エックス線検査（集団・個別））の合計受診者数
大腸がん検診受診者数	人	22,203	23,251	23,579	大腸がん検診（便潜血検査（集団・個別））の合計受診者数
婦人がん検診（子宮・乳）受診者数	人	19,520	20,529	20,433	子宮がん検診（頸部・頸体部細胞診（個別））の受診者数及び乳がん検診（マンモグラフィ検査（個別））の受診者数の合計※令和5年度行政評価から変更

II 活動実績・成果

<p><b>【成果指標】</b>                  上記がん検診の他、前立腺がん検診を実施している。なお、がん検診の受診率は、がん対策推進基本計画に記載されている対象年齢で吹田市に居住地を有する対象年齢の全住民に対する受診率を計算しており、令和2年度以降の各種がん検診の受診率は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>胃がん検診（50歳以上69歳以下） 令和2年度3.2% 令和3年度3.0% 令和4年度2.9%</li> <li>肺がん検診（40歳以上69歳以下） 令和2年度5.9% 令和3年度6.3% 令和4年度6.2%</li> <li>大腸がん検診（40歳以上69歳以下） 令和2年度6.5% 令和3年度6.6% 令和4年度6.5%</li> <li>子宮がん検診（20歳以上69歳以下女性） 令和2年度17.0% 令和3年度16.5% 令和4年度16.1%</li> <li>乳がん検診（20歳以上69歳以下女性） 令和2年度17.7% 令和3年度17.3% 令和4年度17.7%</li> <li>前立腺がん検診（50歳以上69歳以下男性） 令和2年度5.3% 令和3年度5.6% 令和4年度5.6%</li> </ul> <p>がん検診の受診者数だけで見ると、令和3年度に比べ令和4年度は受診者が全体的に増加している。しかしながら受診率においては、コロナ禍前の水準まで戻ってきていないため、がん検診の必要性について、広報・SNS等を通じて効果的な受診勧奨を行う必要がある。</p>
--

III 課題と今後の取組

<p>市民の健康寿命を延ばしていくためには、がんや生活習慣病をはじめとする病気の早期発見・早期治療等を目指していく必要がある。</p> <p>各種検（健）診の受診者数については、コロナ禍前の水準まで戻ってきておらず、市民の健康維持・増進のためには、定期的な検（健）診が必要不可欠であることから引き続き、広報・SNS等を通じて効果的な受診勧奨に努めていくこととする。</p>
--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	5,650	5,424	△226
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	5,650	5,424	△226
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	61,571	54,063	△7,507
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	61,571	54,063	△7,507
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	67,221	59,487	△7,733
建物・工作物	-	-	-	純資産	△67,221	△53,628	13,592
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	0	5,859	5,859				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計	△67,221	△53,628	13,592
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	0	5,859	5,859	負債及び純資産の部合計	0	5,859	5,859

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	10,274	6,415	7,200	785
府支出金(経常費用充当)	13,027	13,123	12,157	△966
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,074	885	8,008	7,123
経常収入 小計(a)	24,375	20,423	27,365	6,941
給与関係費	73,819	91,065	86,523	△4,542
物件費	530,702	566,052	572,734	6,681
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	803	734	1,046	312
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	1,315	1,315
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	5,719	5,650	5,424	△226
退職手当引当金繰入額	△7,828	12,876	△2,719	△15,596
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	603,214	676,378	664,323	△12,055
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△578,839	△655,955	△636,958	18,996
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△578,839	△655,955	△636,958	18,996
一般財源充当額	592,438	648,339	650,551	2,212
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	13,598	△7,616	13,592	21,208

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	24,375	20,423	20,190	△233
行政サービス活動支出	616,813	668,762	670,741	1,979
行政サービス活動収支差額	△592,438	△648,339	△650,551	△2,212
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△592,438	△648,339	△650,551	△2,212
一般財源充当額	592,438	648,339	650,551	2,212
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】重要物品	乳がん検診マンモグラフィ読影診断システム導入による増 5,859千円
【PL】国庫支出金	特定感染症検査等事業補助金の増 748千円
【PL】府支出金	健康増進事業補助金の減 966千円
【PL】経常収入/その他	乳がん検診マンモグラフィ読影診断システム導入による増 7,174千円 集団がん検診自己負担金の減 67千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受診者1人あたりのコスト	9,973円	10,478円	10,154円
実績	60,487人	64,550人	65,423人
コスト	円	円	円
実績			

分析内容  
各年度の受診者数で算出し、令和4年度は受診者1人あたり10,154円のコストがかかっている。前年度と比較し受診者の微増により、1人あたりのコストが減少した。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	74,731	5,180	9.28
会計年度任用等	14,497	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	89,228	-	-

分析指標

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		-	-	-	-
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		96.0	96.9	97.0	0.1